



日本人学習者向け英語発音矯正システム 「**AmiVoice® CALL -pronunciation-**高校版」、導入拡大中！ ～パソコンがあるだけで手軽に英語発音が学べる！都立高校 11 校が続々導入～

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木清幸 以下、アドバンスト・メディア）は、今春より、高校向けの学習に特化した、日本人学習者向け英語発音矯正システム「**AmiVoice® CALL -pronunciation-**高校版」を発売しておりますが、2011年8月に都立高校11校に納入、初秋より本稼働いたします。販売代理店は株式会社ラネクシー（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：二瓶孝二）です。

弊社音声認識技術 **AmiVoice®** を活用し、学習者が話した文章の中から日本人特有の発音の間違いを具体的に指摘・指導できるので、高校などの集団学習の現場では難しかった、個別で明確な指摘が可能となりました。

文科省の調査結果（平成22年度）によると、コミュニケーション能力を育むための「オーラル・コミュニケーションI」の授業において、ほとんど英語で授業をしたという教員は19.6%にすぎず、半分以上を英語で行った教員も32.8%でした。コミュニケーション重視の英語教育をするはずの科目でさえ、授業を英語で行うというには程遠い現状であり、いまだに「読む・書く」を中心とした授業が続いているのが実情です。

当システムはヘッドセットマイクをつけた状態で対象となる単語や文章を「声に出す」ことで、学習者の発音の違いに対して、客観的な指摘を画面に表示する画期的な発音学習教材です。

CALL教室のみならず、PC教室環境において、インストールするだけで手軽にお使いいただけます。「読む・書く」を中心とした授業において、リスニングや発音も学ぶことができるため、よりコミュニケーションを重視した授業を行うことができる点や、授業のみならず、自学習やクラブ活動など多角的に活用できる点を評価頂き、合計11校の都立高校に導入頂きました。

【機能の特長】

1. 良くない発音を指摘する「発音評定機能」。苦手な発音を統計的に把握できます。

日本人独特のカタカナ発音をピンポイントに指摘・評価します。発話の波形やグラフなどの視覚情報を表示することで、学習者は視覚的に自分の弱点が把握できるため、効率的な学習を可能とします。さらに目的に合わせた、様々な文法表現や、日常会話表現をおりまぜた多彩なコンテンツ（練習文）を選べるので、実用英会話にも役立ちます。

2. 日本人が苦手とする発音を、聞き分ける力をつける「聞き分けリスニング練習」

「fall」と「hall」のような発音が類似し、日本人が聞き分けることが難しい単語を並列して表示し、再生された発音がどちらなのかを選択するものです。日本人が苦手とする発音を聞き分ける力を高めます。

3. 苦手な発音を単語単位で集中的に練習する「苦手発音練習」

発音評定で指摘された苦手な発音を、集中的に練習できます。発音とシンクロしたアニメーションで舌や唇の動きが表示されるので、効果的な発音学習が可能です。

4. 学習したデータを、統計的に確認できる「統計履歴」

客観的なデータとして苦手な発音を確認できますので、効率的な「苦手発音練習」及び改善の推移を確認することができます。

管理者は、学習者の苦手ポイントを確認するだけでなく、改善の推移、発話数や学習回数から学習経緯がわかり、学習者に的確な指導を行うことができます。

アドバンスト・メディアは、人と機械のインターフェースの中核として、今後も音声認識技術 **AmiVoice®** を活用した教育現場における新しい製品を展開し、新たな用途を開拓して参ります。

以上



【画面イメージ】



【利用イメージ】

■必要なパソコンの性能

クライアント機

- ①対応 OS: 日本語版 Windows 7/ Vista / XP/ 2000
- ②対応機種: DOS/V 機(マッキントッシュでは使用できません。)
- ③CPU: Pentium III 800MHz 相当以上(1GHz 以上推奨)
- ④メモリ: 384MB 以上の実装メモリ(512MB 以上推奨、Windows 7/ Vista では 1GB 以上推奨)
- ⑤ディスプレイ: 1024 × 768 以上/16bit(ハイカラー)以上
- ⑥HDD: 350MB 以上の空き容量(500MB 以上推奨)
- ⑦SB ポート: 1 ポート
- ⑧サウンドカード: Sound Blaster 互換のサウンドボード(USB ポート使用不可の時のみ必要)

サーバー機

- ⑨対応 OS: 日本語版 Windows Server 2008 / 2003 / 2000 Server
- ⑩対応機種: DOS/V 機(マッキントッシュでは使用できません。)
- ⑪CPU: Pentium III 1GHz 相当以上
- ⑫メモリ: 256MB 以上の実装メモリ
- ⑬ディスプレイ: 1024 × 768 以上/16bit(ハイカラー)以上
- ⑭HDD: 30GB 以上の空き容量(音声録音用に使用)
- ⑮CD-ROM: : 4 倍速以上(インストール時に必要)
- ⑯USB ポート: 1 ポート
- ⑰サウンドカード: Sound Blaster 互換のサウンドボード(USB ポート使用不可の時のみ必要)

【会社概要】

<株式会社アドバンスト・メディア>

代 表 者 : 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸
本 社 : 東京都豊島区東池袋 3-1-4 サンシャインシティ文化会館 6階
U R L : <http://www.advanced-media.co.jp/>
設 立 : 1997年12月
資 本 金 : 45 億 85 百万円 (152,602 株) (2011年6月末日現在)

- 事業内容：
- ◆**AmiVoice**®を組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」
 - ◆**AmiVoice**®を組み込んだアプリケーション商品を提供する「ライセンス事業」
 - ◆企業内のユーザや一般消費者へのサービスに**AmiVoice**®を提供する「サービス事業」

■アドバンスト・メディアについて

アドバンスト・メディアは、独自の音声認識等の技術 **AmiVoice**®により、“声”で文章入力などができる各種ソリューションを提供してきました。**AmiVoice**®音声認識エンジンは、利用者毎に声の事前学習（エンロールメント）を行うことなく、すぐに音声入力できます（不特定話者対応）。医療・教育およびエンターテインメント・議事録・コールセンタ・ビジネスソリューションの分野で主に利用されています。例えば医療分野においては、導入施設が3,435を超えるまでとなり(2011年3月末現在)、医療診断の効率化に貢献し、その導入効果が高く評価されています。2008年には音声認識技術 **AmiVoice**®を活用した「音声入力メール」が、経済産業省の外郭団体である独立行政法人・情報処理推進機構（IPA）主催の「ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー®2008」（SPOTY2008）を受賞しました。

<株式会社ラネクシー>

- 代表者： 代表取締役社長 二瓶 孝二
 本社： 東京都新宿区百人町1-22-17 フジビル26
 URL： <http://www.runexy.co.jp/>
 設立： 1995年11月
 資本金： 1億円（2011年6月末日現在）
 事業内容： ◆仮想化・運用管理・セキュリティなどシステムソリューションの提案・設計・導入・運用を行う「システムソリューション事業」
 ◆最新のテクノロジーを採り入れたパッケージソフトウェアを企業から個人ユーザーまで幅広く提供する「ソフトウェアパッケージ事業」

※営業担当部門は株式会社ラネクシー ITソリューション事業本部です。

【本件のお問い合わせ】

報道関係	お客様
経営管理本部 広報チーム	営業本部 飯塚・森山
TEL:03-5958-1307	TEL:03-5958-1091
FAX:03-5958-1032	FAX:03-5958-1033
E-mail:press@advanced-media.co.jp	E-mail:info@advanced-media.co.jp

【Copyright・商標】

Copyright 2011 Advanced Media, Inc.

AmiVoice®およびロゴマークは、アドバンスト・メディアの登録商標です。

記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。